

社会的責任と環境のかかわり

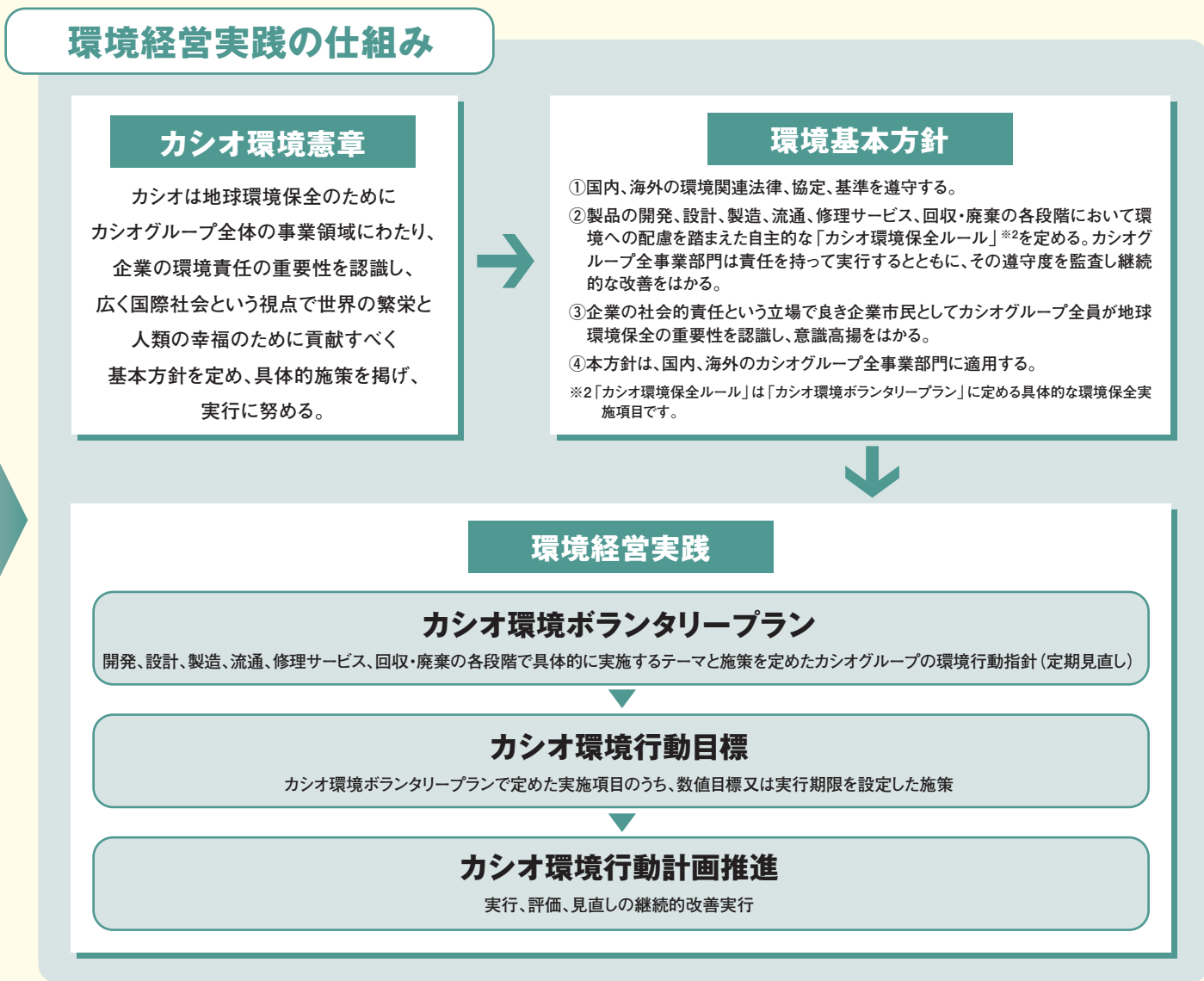
社会に役立ち、人々に感動を与える経営を実践するために、
経営理念「創造 貢献」を根幹に据えた「カシオ創造憲章」をもとに環境経営に取り組んでいます。



*1 普遍性のある必要を創造/誰にとっても必要でありながら、まだ世の中になかったものを、新たに生み出すこと。これは製品開発のみならず、すべての業務においてカシオが追求すべきものです。

カシオ倫理行動規範

人権の尊重や公私の分別、環境保全、社会貢献など社員が日常において守るべき条項



創造憲章と環境憲章

カシオは、「創造 貢献」の経営理念を創造的に実践していくために、一人ひとりが物事を判断し行動するための規準として2003年6月1日の創立記念日に「カシオ創造憲章」を制定しました。さらに、創造憲章の各章について、社員全員がより理解・実践しやすい具体的な行動基準を「カシオ行動指針」として12月に開示しています。また一人ひとりが日常活動の中で良識ある社会人として行動し、社会に貢献することを目的に「カシオ倫理行動規範」を定めています。

一方「カシオ環境憲章」は、4つの「環境基本方針」とともに1993年1月に制定しました。具体的な環境保全活動の実践のた

め「カシオ環境ボランティアプラン」として「環境保全ルール」を定め、社会状況や活動の進捗に応じて、2004年1月に第8版の改訂を行っています。

この中から具体的な数値目標と実行期限を明確化した「カシオグループ環境行動目標“クリーン&グリーン21”」を制定し、グループ全体の中長期行動計画を開示し、計画達成に向けて推進しています。また2004年6月には第7版の改訂を行っています。 ▶▶▶ P13参照

このように「カシオ創造憲章」は社会貢献、環境保全、情報開示、ステークホルダーとのコミュニケーションといった環境経営実践の仕組みを提示し、「カシオ環境憲章」と密接に関連しています。